

K036

- T: じゃ、えっと、O P Iを始めます。
 ちょっと待ってね。
 時間を合わせないと。
 はい、よろしくお願いします。
- I: よろしくお願いします。
- T: はい。
 えっと、***、はい。
 ちょっと、ごめんなさい〈はい〉。
 あ、50分、はい。
 じゃ、始めますけど、わたしの名前は【T (姓)】ですけど、…
- I: はい、えー、…
- T: 【I (名)】さん。
- I: はい、あの、【I (名)】と申します。
- T: 【I (名)】さん〈はい〉、はいはい。
 えっと、【I (名)】さんはアメリカですね。
- I: そうですね。
- T: ええ。
 アメリカのどちらからですか？
- I: アメリカの【地名1】州というところから。
- T: 【地名1】州？
- I: そう。
 【地名1】州の中で〈ええ〉、ま、【地名2】っていう、あの、町から。
- T: あ、【地名2】。
- I: そうですね。
- T: まーまー、有名な町ですね。
- I: そうですね。
 まー、やっぱり、いちばん有名なのは〈ええ〉シアトルなんですけど〈ええ、ええ〉、その、あの、【地名1】州の東のほうにある、あの、【地名2】から。
- T: そうですね。
 わたしもアメリカはしばらく住んでたので、よく天気予報のときに【地名2】、…
- I: そうですか。
- T: はい、あー、【地名1】というね、…
- I: なるほど。
- T: だけど、行ったことはないんですけど〈うーん〉、えー、す、どんな町なんですか？
- I: {ブレス} そうですね、やっぱり、あの、まー、ニューヨークとか〈ええ〉シアトルに比べると、もうちょっと、あの、まー、小さくて、ちょっと〈ええ〉、人が少ない町なんですけど〈ええ、ええ〉、その地域の中で、たぶん、あの、モンタナとかアイドボン[^]の〈ええ〉、その、なんて言いますか、その近くにある町の中で、たぶんいちばん大きい。
- T: あー、そうですか。
- I: そうですね。
- T: なんか、【地名2】なんてのは、ちょっと変わった名前ですね。
- I: そうですね。
- T: い、インディアンのことばですか？
- I: そうですね。
 インディアン、あの〈ええ〉、その、【地名2】っていう〈ええ〉、あの一、なんて言うんですかね、そのインディアの〈ええ〉族っていうんですかね〈ええ〉、その、むかし住んだ人〈ええ〉の、トライブの名前ですね。
- T: あー、そこで生まれて育って。
- I: そうですね〈あー〉。
 ま、お、あの、い、あの一、それは、ちょっと一、話がちょっと長くなるんですけど〈ええ、ええ、ええ〉、生まれたのは、あの、【地名3】州の〈ええ〉【地名4】っていうところ〈ええ、ええ、ええ〉住みました。

K036

で、そこで、あの、生まれたんですけど〈ええ、ええ〉、で、そのときに、わたしの父は軍人に入っていた〈ええ〉、軍人でした〈ええ〉。

でー、そのときに、その、あの一、まー、あの、基地に、あの、勤めてて〈ええ、ええ〉、で、あれから、まー、1歳のときに、あの、【地名5】州に〈あー〉引っ越ししてしまっって〈はいはい〉、それで、その、ま、1歳のときから〈ええ〉6歳まで、そこ、ずっと、あの、住んでて。

T: そゝれが【地名5】で。

I: そう、【地名5】のほう〈はいはいはいはい〉。

【地名5】、【地名6】っていう〈ええ、ええ、ええ、ええ〉、すみま、住みました。

で、あの一、まー、父が、結局、あの、軍を〈ええ〉、あの、ま、エアフォースでした、でしたんですけど〈ええ、ええ、ええ〉、あの、くう、空軍でしたかね〈はいはいはいはい〉、空軍に入ったんですけど〈ええ〉、でー、あの、まー、あ、あれから、あの、ちょっと、たいいん〔退任〕して〈ええ〉、で、【地名2】、まー〈ええ〉、ま、父と母も〈はい〉、あの、うわ、生まれも育ちもそこで〈ええ〉あったんですけど〈はーはーはー〉、そこに、あの、引っ越しました。

T: あー、なるほどね。

I: ですから、ま、6歳から、ずーっとそこで〈はー〉過ごしました。

T: じゃ、あまり、その一、えーっと、え、【地名5】は、【地名6】ですか、…

I: そうですね。

あの、***…

T: のは、あんまり覚えてない。

I: {ブレス} そうですね。

ま、覚えてることは、もちろん〈ええ〉ありますけど〈ええ〉、あの一、で、1回、2回ぐらい帰ったことありますけど〈ほーほーほー〉、そうですね。

T: ふーん。

どうですか、【地名6】、それから【地名2】、そして京都。

I: そうですね。

T: 日本はこれが初めてですか？

I: 初めてですね。

T: 初めて。

I: そうですね。

T: この9月から。

I: そうですね。

9月から初めてです。

T: はー、そうですね〈はい〉。

あの一、えっと、それは、これ、これ、日本語は、子どものときから勉強したんですか？

I: {ブレス} いや、あの、日本語は〈ええ〉、高校3年生のときから勉強しました。

T: 高校3年生。

それ、【地名2】で。

I: そうですね。

【地名2】、ま、そのときに、あの、わたしの高校と〈ええ〉、ま、短期大学、ある特別なプログラムがあっって〈ええ〉、で、そこで、あの、交流プログラムみたいなことありまして。

T: 短期大学と。

I: そうです、短期大学と〈へー〉。

で、その、高校の最後の〈ええ〉2年間〈ええ〉、ずーっと短期大学で勉強しました。

T: あー、そうですね。

I: そうですね。

で、そこで、まー、日本語、勉強し始めました。

T: ええ、ええ、ええ、それがきっかけだったんですね。

I: そうですね。

T: ふーん。

京都はどうですか？

K036

- I: 京都はですね〈ええ〉、京都は、まー、ちょっと、説明するのがちょっと難しいかもしれないですけど〈ええ〉、あの一、…
- T: 気に入ってますか、気に入ってませんか？。
- I: すぐ来て、気に入ってるところも〈ええ〉あるし〈ええ〉、気に入ってないところも〈ええ〉ありますけど〈ええ〉、あの一、ま、やっぱり、自然とかが、けっこう〈ええ〉あるところで〈ええ〉、でも逆に、あの、四条とか〈ええ〉、もうちょっと、なんか、賑やかなところに行く〈ええ〉、もうちょっと、なんて、なんて言うんですかね、現代的なところ、にぎやかな〔賑やかな〕ところで、ま、なんでもできるみたいなおところ〈ええ、ええ〉なんですけど〈ええ〉、でも、たぶん、いちばん好きなのは〈ええ〉、寺とか神社を…
- T: あ、そうですか。
- I: そうですね〈ふーん〉、見ることですね。
そういう、なんて言うんですかね、そういう、現代的なもの〈うん〉とか、きょうとー〔京都〕らしいもの〔笑〕っていうか〈あーあーあー〉、見るのがね、好きなんです。
- T: あー。
- その三つの、フェアバンクスト、あー、***、【地名6】と【地名2】と京都と比べると、ま、だいぶち、京都がいちばん違うと思うんですけどねー。
- I: そうですね〈えー〉。
やっぱり、あの一、まー、住んでるところはけっこう〈ええ〉狭いし〈ええ〉、でー、あの、わたしの大学は〈ええ〉、まー、【地名7】にあるんですけど、…
- T: あ、そうですか、はいはい。
- I: そうですね。
で、それは、けっこう、なんて言うんですかね、その、きんこうのところがたくさんあるし〈ええ、ええ〉、もうちょっと、あの一、何言うんですかねー、あの、町〈ええ〉の感じはあまりしないと思いますねー。
- T: 町の感じがしない。
- I: ま、町の感じがあまりしないですね。
た、ただ、あの、たくさん人が、同じようなところ、あの、に、住んでる〈ええ、ええ〉だけで〈うん〉、別に、なんか、し、あの、そのダウンタウンところだとか、ていうのはもちろんあるんですけど、別に、その、ものすごく広い町なので〈ええ〉、すると、ま、市なので〈ええ〉、ま、ほんとに大都市なん***…
- T: え、【地名7】？。
- I: 【地名7】ですね〈ええ、ええ、ええ、ええ〉。
その、ら、【地名7】の東のほうに〈ええ〉住んでるんですけど〈ええ〉、ですが、京都とロサンジェルスとけっこう〈うん〉違うんですけど、やっぱり、その、【地名6】と京都がいちばん、極端が大きいかな。
その、極端があるから。
- T: なるほどね。
うーん、えっと、でも、日本は初めてなんですよ？。
- I: そうですね、初めてですね。
- T: うーん、その、何かイメージはどうですか？。
い、い、その一、…
- I: そうですね〈ええ〉。
まー、もちろん前に、あの〈ええ〉、けっこう勉強しましたので〈ええ、ええ〉、そんなに、な、イメージと違うことは〈うん〉ほとんど無かったと思いますけど〈ええ、ええ、ええ、ええ〉、ちょっと、あの一、前に***があったことがある、あったんですけど〈ええ〉、それはちょっと、なんて言うか、平凡なことかもしれないんですけど、…
- T: うん。
例えば？。
- I: あの、マヨネーズを〈ええ〉、たくさん食べますよ、日本人は。
- T: あ、そうですか。
- I: で、それ、ぜんぜん知りませんでした。
- T: あ、そうですか。
- I: それは、ちょっと…
- T: いまホームステイですか？。

K036

- I : そうです、ホームステイですね〈ふんふんふん、ええ〉。
 で、も、もしコンビニとかに〈ええ、ええ〉行っても〈ええ〉、なんか、ホットドッグとかあって〈ええ〉、
 アメリカンドッグとかあって〈ええ〉、で、それにマヨネーズを、メヨネーズかけることが〈ええ、ええ、ええ、ええ〉
 たくさんあると思いますけど、それはちょっとびっくりしました。
- T : へー、なるほどね。
 どうしてなんでしょうね、日本人は。
- I : どうしてですかね。
 しかも、その、メヨネーズは、に、日本のマヨ〈はい〉、メヨネーズ〈ええ〉とアメリカのはちょっと違う
 と思いますけど…
- T : あ、どう違いますか？。
- I : なんて言うんですかね、あの一、味とかが違うと思いますけど、なんか、その、あの一、何言うんですか
 ね、その、使ったもの、原料っていうか〈ええ〉、その、あの、作ったもの[^]は、なんか違うかなと思います
 けど〈ふーん〉、アメリカのはぜんぜん好きじゃない〈ええ、ええ、ええ、ええ〉んですけど、日本のは、そ
 んなに、お好み焼きとかかけると〈ええ、ええ〉、おいしいと思いますね。
- T : おいしいですよ、お好み焼きのマヨネーズってね。
- I : たこ、たこ焼きとか。
- T : ソースと {笑} …
- I : そうですね。
- T : 海苔とね。
 うーん、あの一、今ホームステイな、なんですよ？。
- I : そうですね、ホームステイです。
- T : 家族はいいですか？。
- I : そうですね。
 いいと思います。
- T : うまくいってます？。
- I : そうですね。
 けっこううまくいってますね。
- T : アメリカのほうと、だいぶ違うでしょう、家族の…
- I : いや、それ、ちょっと、思ったより〈ええ〉、あんまり違わないと…
- T : あ、そうですか。
- I : 違わないと思いましたね。
- T : 例え？。
- I : あの一、何言うんですかね、いや、違うところと言えば〈うん〉、その、親と子どもの関係がちょっと違う
 と思いましたね。
- T : あ、どう違いますか？。
- I : アメリカのほうが、これ、もちろん〈うん〉、あの、わたしの視点から見んですけど〈ええ、ええ、ええ〉、
 アメリカの親のほうがちょっと厳しいかなと思いますけど、…
- T : あ、そうですか。
- I : その子どもに対する〈ええ〉、なんて言うんですかね、あの一、叱り方とか、…
- T : あ、そう。
- I : 子どもが、子どもの親に対する〈ええ〉、あの、態度とか〈ええ、ええ〉、ちょっと違うかなと思いました
 けど。
- T : アメリカ人のほうが厳しいと思いますか？。
- I : アメリカ人のほうが、その、なんて言うんですか、その、親と〈ええ〉、なんか、親が、あの、言っちゃい
 けないことばとか〈ええ、ええ〉、そんな、あの、言い方とかが〈ええ、ええ〉、ちょっと違うかなーと思
 いましたけど〈うん〉、でも、それ、もちろん、わたしだけの経験なんですけど、もちろん、一般の人は…
- T : ま、一般、一般的に言うと、何か、その、日本人の家庭のほうが、その、躾とか…
- I : そうですね。
- T : あの、厳しくて、アメリカのほうが、むしろ親子関係も友だちのみたいなのという…
- I : そうですね。

K036

T: イメージを、ま、持ってますよね。

I: そうです。
それ、普通。

それは、ちょっと〈うん〉、そうですね、その、子どもの、あの、ま、叱り方とかっていうか、ま、し、叱らないことは、ちょっとびっくりしましたけどね。

T: うーん、叱らないこと。

I: そうですね。
比較的〈ええ〉、あの、そんなに叱らないっていうのが〈うん〉、あの一、ちょっとびっくりしましたけど。

T: うーん、それは、あの、【I (名)】さんのホストファミリーだけではなく、ほかでもそうだと思いますか？。

I: そう、あの一、ま一、ほ、もちろん、お、友だち[^]も、あの、全員、あの、ホストファミリーあります、ありますけれども〈ええ、ええ、ええ、ええ〉、その、その、あの、ひきよ、人の意見とか聞いたら〈ええ〉、やっぱりそうですよね一、という返事がけっこう聞きましたけど。

T: あ、そう。

I: そうですね。
でも、やっぱり、ぎゃく一〔逆〕〈うん〉に、そうじゃない家族もたくさんいるかなと思うんですけど。

T: は一は一は一。

でも、ま、確かにおっしゃる通りに、あんまり叱らなくなってるのは事実だと思うんで、どうしてだと思いますか？。

その…

I: そうですね。
それは、ちょっと、…

T: 逆にアメリカでは、まだ、その…

I: そうですね。

T: 厳しいっていうから。

I: うん。
でも、急に、やっぱり、これは、ほんとは関係あるかどうか〈うん〉、ちょっと、知りませんが、日本の、なんて言うんですかね、日本の学校の制度とか〈ええ、ええ、ええ〉、が厳しいから〈ええ、ええ〉、親はそんなに厳しくないかなと思いますけど、その、社会が厳しいことが〈あ一〉あるから〈ええ〉、あの、もちろん、子どものときには子ども〈うん〉でいいみたい〈あ一〉。

別に、あの一、何言うんですかね、あの一、無理やりに〈うん〉大人をする必要は無い〈あ一〉かなと思いますけど、それは…

T: それはおもしろい考えですね。

ま一、日本の社会って、けっこう決まってるから。
この、中学生は中学生らしく、…

I: そうですね。

T: 社会の、その、サラリーマンはサラリーマン。

I: そうですね。

T: 一方、アメリカは、あんまりそうじゃない面がありますね。

I: そうかもしれません〈ふーん〉。

***。

T: なるほどね。

その、アメリカのそういう、なんて言うのかな、なになにらしく、っていうものが無いことについて〈うん〉、どう思いますか？。

その、社会の体制ね。

I: {プレス} うーん、そうですね。
それはやっぱり、アメリカ…

T: 例えば、アメリカの場合ね〈うん〉、ま、わたしも、あの、アメリカ、長くいたので、すぐに子どもから大人になっちゃうっていうか〈うーん〉、あの一、中学に上がるとすぐお化粧し始めるとか、あの一、…

I: そうですね。

K036

T: えー、日本人はそうじゃない。

もちろん、日本でも今そういう子ども多いけど、じょじょにやっっていくっていうね、…

I: そうですね、その、何言ってるのかな、急に変わることがあるかなと思いますね〈おー〉、アメリカでは〈ええ、ええ、ええ〉。

その一、あの一、もちろん、わたしでの経験をすぐ〈ええ〉、この感じ、あの、このことを感じると思いますけど〈ええ、ええ、ええ、ええ〉、大学を卒業して〈ええ〉、すぐ大人〈ええ〉みたいなんですよね〈ええ、ええ、ええ〉。

で、もちろん、ま、大学に入って〈うん〉、たぶん、ま、一人で、あー、一人暮らししてる人も〈ええ〉いるんですけど〈うん〉、やっぱり、その、なんて言ったらいいんだろう、その、差が、かく、あの、かく、確かにあると思いますね〈うんうんうん〉。

その、大学卒業して〈ええ〉、急に大人〈ええ〉になっちゃって〈ええ〉、で、全部、あの、なんでも、家賃とかも払わなければならないし〈うんうん〉、仕事も〈ええ〉しなければならないし〈ええ〉、そういう、たくさん〈ええ〉、あの、責任とかがたくさん、あの〈うん〉、なんていうんですかね、あの、重なってしまうかな…

T: なるほどね。

I: と思いますけどね。

T: うん、ところで、今、まー、この【団体名1】という、【大学名1】の中の一部ですけど、何か、クラブとか何かやっていますか？。

I: {プレス} そうですね。

あの一、前に、あの、コスモポリタンというクラブに〈ええ〉、ちょっと参加しましたけれども〈ええ、ええ、ええ、ええ〉、で、そのクラブはべつに、あの、決まった〈ええ〉、あの、勉強するトピックとかなくて、ただ、あの、日本人と〈ええ〉留学生と一緒にどっかに行って〈ええ〉、はなししたり〈あー〉、あの、おもしろいことしたりするグループだったんですけどね〈ええ〉。

でも、今までは正式に入ったのは、あの一、まー、無いんですね。

T: あー、でも、そのコスモポリタンにはまだ入ってるんですか？。

I: そうですね、まだ入ってますね。

T: ふーん、どういうことをするんだって？。

その、…

I: そうですね。

あの一、…

T: ピクニックとかそういうの？。

I: ピクニックとかもするし、あとは、あの、ま、じーざ〔神社〕とか寺に行くこともあるし〈ええ、ええ、ええ、ええ〉、あの、三十三間堂に行ったことも〈ええ、ええ〉ありまして〈ええ、ええ〉、でー、そういう、なんて言うんですかね、その一、なんて言うんですかね、その、こ、と、友だちを作る〈うん〉機会〈うん〉があると〈うん〉いうかな〈うん〉。

ですから、まー、あの、まー、やっぱり、いまだ、今出川では、ちょっと〈ええ〉、その、クラブとか〈ええ〉、グループに入る、なんて言うんですかね、機会とかが、すっげ、あの、比較的少ないかなと思って。

T: あ、そうなんですか。

I: そうですね。

4年生、と、3年生〈ええ〉4年生ばかりで〈ええ〉、やっぱり就職活動がんばってることが一番かなと思いますけど〈ええ、ええ〉、逆に京田辺では〈ええ〉、あの、ま、1年生とか2年生〈ええ、ええ〉、ま、そういう…

T: あ、それは【地名8】の？。

I: 【地名8】一、いや、その、あの、コスモポリタンっていうのは〈うんうんうん〉、ここの〈ええ、ええ〉、あの、ここの〈はい〉、ここのいま、【地名9】の〈ええ、ええ〉、あの一〈ええ〉、サークルなんですけど〈ええ〉、でもやっぱり1年生の〈ええ〉、1年生と2年生の〈ええ〉キャンパスのほうが、あの一、おもしろいクラブとか、興味〈ええ〉、わたしがおもしろーんと思ってるクラブのほうが〈あーあー〉あるんですけど、それは、たぶん電車で1時間ぐらいかかる。

T: 遠いですねー。

I: そうですね。

K036

それは、ちょっと、あー、まー、無理です。

T: だから、そのコスモポリタン、だけど、…

I: だから、コスモポリタン、まー、もちろん、入りたい〈うん〉、あの、グループは〈ええ〉あったんですけど〈ええ、ええ〉、それは、ちょっと、まー、うん、無理でしたね。

T: うーん。

で、その、ま、コスモポリタン、この、こちらの3年生4年生ってのは就職活動をやるというね。

I: そうです。

T: だから、あんまり接触がなくなっちゃう。

I: そうですね。

T: いっぽう、アメリカーは、そういうことしないですよ、3年生4年生でね。

I: そうですね。

それ、ま、やっぱりアメリカの、何言うんですかね〈うん〉、その大学に〈うん〉入ってる人の考え方によって〈ええ〉ちょっと違うんですけれども〈うん〉、まー、もちろん、しゅ、就職、頑張ってる〈ええ〉人もたくさんいらっしゃる〈ええ、ええ〉と思いますけど〈ええ、ええ〉、逆に、わたしの入ってるのは〈ええ〉、あの、リベラルアーツ [リベラルアーツ] 〈ええ、ええ〉、こ、コレッジ [カレッジ] っていう、あの、…

T: な、なんだって？。

I: あの、リベラルアーツコレッジ [リベラルアーツ・カレッジ] 〈あーあーあーあー〉、リベラルアーツカレッジっていう〈うんうん〉大学なんですけど、その大学の種類、4年、4年間のだ、大学だけなんですけど、だから、大学院とかも何も付いてないんですけど〈はいはいはい〉、その大学、4年間の大学だけで〈ええ、ええ〉、で、その、その大学に通ってる人のほうが〈うん、うん〉、たぶん就職のことをあんまりかん、考えないと言うは、言えないかもしれないですけど〈うん〉、なんて言うんですかね、決まった将来とかがないかもしれないですよ。

T: それについて、どう思いますか？。

日本の場合は、り、あの一、ま、リベラルアーツの学校であ、であろうとなかろうと〈うん〉、大学院があるとなかろうと、あの一、も一、3年生4年生ぐらいから就職活動するんですね。

I: そうですね。

T: えー、だけど、だから勉強できなくなるんですよ、ちょっとね。

I: そうですね。

T: いっぽうアメリカのほうはそうじゃないです。

そういう、その違いについて、どう思いますか？。

I: そうですね。

やっぱり、いい点と悪い点は〈うん〉あると思いますね〈はい〉。

あの一、アメリカのほうは、たぶん、その、あの一、なんつーかな、長く勉強〈ええ〉できると思います〈ええ〉、時間ができると思いますけれども〈ええ、ええ〉、逆に、あの、まー、就職の〈ええ〉、あの一、ときに来ると〈ええ〉、ちょっと大変〈ええ〉な状態になってたかもしれない〈ええ、ええ〉。

あの、大学生はどうすればいいとか〈ええ、ええ〉、思っ〈ええ〉、今からなんとかしなきゃとか〈ええ、ええ、ええ〉、思っ〈ええ、ええ、ええ〉、かもしませんが〈ええ〉、やっぱり日本のほうがなんか、大学は〈うん〉、わたしの視点から見ると〈ええ〉、もうちょっと、その、あの一、ま、企業に入るため〈ええ〉、だけってゆ、言ったら、ちょっと〈うん〉、間違いかもしれないんですけど〈ええ、ええ〉、やっぱり、その、やっぱり、ちゃんと〈うん〉目的あって〈うんうん〉、それで大学に〈ええ〉行ったんですよ〈ええ〉。

逆にアメリカは、たぶん、まー、ある話題〈ええ〉、科目を勉強したいだけで〈ええ〉大学に行く〈ええ、ええ〉。

それとも、ま、大学とかに行きたい人は大学に行く〈ええ、ええ〉。

で一、別に、就職、まー、もちろん、仕事したい人なんですけど〈ええ〉、別に決まった仕事はないんですけど〈ええ〉、その大学に行って、いろんな授業をとって〈ええ〉、で、自分の興味とかを探ることができるから〈ふんふんふんふん〉、それがいいと思いますけど、やっぱり、何言ったらいいかな、ゆ一、日本のほうが、何言う、現実的かなと思いますけど。

T: なるほどね。

I: そのしゅー、しちごとなった、3年生とか4年生になると、少し考えられることはですね。

K036

- T: 【I (名)】さんの先輩とか、*、*、兄弟はいらっしゃる？。
- I: 兄弟は、い、あー、そうですね、いませんけど。
- T: いない。
そしたら、…
- I: そうですね。
一人っ子ですね。
- T: そしたら、先輩なんかどうしてるんですか？。
その、…
- I: そうですね〈うん〉、あの、ま、先輩は、先輩としては、今は、ま、勤めてる〈ええ〉、あの、会社とかも
ありますけど〈ええ、ええ〉、やっぱり、今の経済状態は、ちょっとダメになって。
- T: おー、大変みたいですね。
- I: そうですね。
クビになっ、なっちゃいそう人も〈うんうんうんうん〉いらっしゃるんですけど〈うーん〉、それは、ちょ
っと、ま、大変だなーと思いますけども。
- T: えー。
じゃ、あなたが卒業するときはどうだろう？。
- I: {ブレス} そうですね。
それは、ちょっと、わたしも気になってるんですけど〈ええ、ええ、ええ、ええ〉、あの一、ま、前に、あ
の、金融ぎ、あの、業界に入ろうかなと思いましたが〈ええ、ええ、ええ〉、まー、今、その、まー、業
界、ほとんどダメになっ一〈ええ〉、で、とーし [投資もしくは都市] 銀行とかもどんどんどんどん潰れて
っ一〈ええ、ええ、ええ〉、ですから今どーすればいいか、ちょっと分かんなくなっちゃってるんですけど
一〈{笑}〉、あー、まー、でも、ちゃんと〈うん〉考えてますけど〈うん〉、今は、ま、法律とか〈ええ〉、法
律大学〈ええ〉、あー、法律学校とかに〈ええ〉入ろうかなと考えてますけど。
- T: 大学院に。
- I: そうですね。
法律、何かについてしたいなーと思いますけど。
- T: ええ、ええ。
どんな法律を、がしたいんですか？。
- I: どの法律、あの一、そうですねー〈うん〉、まー、せっかく、こんなに勉強、あの〈ええ〉、日本語とか勉
強したので〈ええ〉、なんか日本、何か日本とアメリカの〈ええ〉、あの、なんですかねー、その、日本語は
使える〈はい〉仕事見つければ〈ええ〉、それがいいかなーと思いますけど〈はいはいはい〉。
ですから、たぶん、うーん、何か国際ビジネスに関する…
- T: 国際的なことね。
- I: そうです。
何か***…
- T: 今の日本とアメリカの関係ね〈うーん〉、どう思いますか？。
そのアメリカに、ま、日本に来て、まー、3ヶ月、もっとなりますね。
- I: そうですね。
- T: どうですか。
えー、いい関係だと思えますか、悪い関係だと思えますか？。
- I: ま、ほとんどいい関係だと思えます〈うんうんうん〉。
やっぱりアメリカと日本の関係が〈ええ〉わるいこーい一た [悪いかいいか] ということじゃなくて〈ええ〉、
日本の近くにある一、ま、中国とか韓国とか〈ええ、ええ〉、そ、そ、そっちのほうが〈はい〉日本にとって
大切かなと思いますけど〈うん〉、その、まー、あの一、なんて言うですかね、中韓〈ええ〉とか、その反日
〈ええ、ええ〉感情とか〈ええ、ええ〉持つてる国のほうが〈ええ〉、日本にとって問題かなと思います〈う
ーん〉。
でも、やっぱり、アメリカと日本は、けっこう、まー、友だちのような〈うーん〉感じがしたので…
- T: 一方、だけど、アメリカも、今はもっと中国のほうに向いてるといふね。
- I: そうですね、あの一、…
- T: それについて、どう思いますか？。

K036

I : そうですね。

それは、何言うのですかね、仕方がないかなと思いますけど〈うん〉、それ、別に日本が好きってわけでも、あ〈うん〉、好きじゃないってわけでもないんですけど〈うんうんうんうん〉、やっぱり中国のほうが経済的〈ええ〉に、あの、力を〈ええ〉持つようにしてるし〈ええ〉、で一、ま一、将来に、たぶん、経済的に、ほうが多い、大きいから〈うん〉、ちょっと中国を〈うん〉向こうとしているかなと思うんですよ。

T : でも、そうすると、あの一、カネーにものをいわせるっていうか〈{プレス}〉、も一、その、…

I : そうですね。

T : カネー社会になっちゃいますよね。

I : そうですね。

T : それじゃ一、ちょっと困ると思うんですけど、その点について、どうですか？

I : そうですね一。

T : 日本が好きな、日本、ね一、のほうで…

I : そうですね。

T : 何かやろうと思ってる【I (名)】さんの立場ではどうですか？

I : そうですね。

ま一、もちろん、ま一、日本語、こんなに〔こんな〕勉強したんですけど〈うん、うん〉、ま、いま一、す、ちゅ、あの一、ま一、1ヶ月前にぐらいかな〈うん〉、あの、中国語も勉強し、あの、始めてます{笑}〈{笑}〉。

で一、あの一〈うん〉、これは、あの、ちょっと、前に話に〈ええ、ええ〉戻んですけど〈ええ〉、あの一、わたしは、ま一、3年生、高校の3年生のときに〈ええ、ええ〉、もともとは中国語を勉強しな一と思いましたが、…

T : あ、そう。

I : で、そっちのほうが経済的に〈あ一〉足しになるかな〈ええ、ええ〉、あの一、役に立つかな〈ええ、ええ〉、と思って、で一、あの、漢字、けっこう、あの、好きなんですね。

T : あ、なるほどね。

I : で、そっちのほうが、やっぱり、漢字もあるんですけども〈うんうんうん〉、しかし、その、あの、たんが、短期大学〈ええ、ええ〉は、ま一、中国語の授業がありましたけど〈ええ、ええ〉、それを別のキャンパス〔キャンパス〕でしか行われなかったのだから〈あ一、は一は一は一は一〉、ま、日本語近いかなと思って。

で、しかも、友だち、なんか〈ええ〉、あの一、アニメとか〈ええ、ええ〉漫画に興味を持ってる友だちが〈ええ、ええ〉いま、いまして〈ええ〉、で、その人、日本語、取りたがったので〈ええ〉、ま一、友だちと一緒に日本語、取ろうかなと思って〈{笑} うーん、うーん〉。

ですから、ちょっと、もちろん、ま、にほ、前から日本〈うん〉とか日本人〈うん〉が好きだったんですけど〈ええ、ええ〉、ちょっと、あの一、きっかけが、ちょっと、偶然だったかなと思いますけど。

T : あ一、なるほどね。

I : そうですね。

T : そのね、その一、ことばの勉強と経済っていうのは、ま一、結びついてることは確かなんですけど〈うん〉、あの一、だけど、一方、日本語みたいなアニメとかね〈うん〉、必ずしも、あの一、経済に結びつかない。

I : そうですね。

T : え一、どう思いますか、その、おわ、その、なんて言うの、拝金主義ってことばがあるんだけど〈うん〉、え一、何かビジネスするためにね、ことばをやるっていうね、決して悪いわけじゃないんだけど。

I : そうですね。

あの一、わたしはけっこう一般的に言語に興味を持ってるもので〈ええ、ええ、ええ、ええ〉、別に中国語が〈ええ〉、あの一、ま一、経済的に、あの、があるから〈うん〉、そういう言語を勉強しようと思ってません〈へ一〉。

ただ、その言語が好きで〈うん〉、もちろん、そのほかの利点も付いてるから〈うんうん〉、ま、それでいいかなと思いましたが〈うんうんうん〉。

ですから、あの、ま一、でも、例えば、もし、あの一、わたしは日本人だとしたら〈うんうんうん〉、で一、すの、ビジネスの機会を〈うん〉増やすために日本〈うん〉、あ、英語とかを〈ええ〉勉強するのは〈ええ〉、ま一、それは悪くないと思いますね〈うんうんうん〉。

ただ、もちろん、それは、また現実〈ええ〉、ま一、なんて言うのですかね、事実かもしれませんが〈ええ、ええ、ええ〉。

び、ビジネスの事実〈うん〉、その、英語が世界の言語みたいのことでですから〈はーはーはー〉、勉強するのは当たり前かなと思いますけど〈あー〉。

でも、まー、それがあっても、その、べん、言語を楽しむのが一番かなと思いますけど〈はーはーはー〉。

勉強するのが嫌だったら〈うん〉、あの、ま、あんまり上手になれないし〈うーん〉、ちょっと、あの、まー、めんどくさいな…

T: むしろ、その、弁護士っていうか法律をね、扱う人たちなんかになると、またちょっと違う。

I: そうですね。

T: ね、国際的な面でも。

どういう貢献ができると思いますか？。

【I (名)】さんが例えば、弁護士〈うーん〉、国際法のぼ、えー、弁護士になったとしたら。

I: {ブレス} うーん、そうですね。

それは、ちょっと、むつかしいかなと思いますけど。

T: あー、あんまり考えたことない {笑}。

I: そうですね、あん、まー、考えたことは〈ええ〉、まー、ありますけど〈ええ〉、今は、どういう、あの一、法律〈ええ〉をしたいのかとか〈ええ〉、で、あとはほんとに弁護士、まー、す、法律が好きでも〈あ、はい〉、弁護士に本当になりたいかどうか、ちょっと〈ええ〉、分かりませんので、それはちょっと〈ええ〉、まー、いま考え中ですね。

T: なるほどね、うーん。

まー、ところで、ちょっと話を変えると、あの一、そうだな、まー、何クラブだったっけ？。

えー、…

I: あの、コスモポリタン。

T: コスモポリタン。

それは、ま、…

I: それ、でも、…

T: あんまり…

I: こ、コスモだけで…

T: え、えー、特徴のない、いー〈あー〉、あれだから、何か趣味はありますか？。

その一、…

I: 趣味ですね〈うん〉。

あの一、わたしはギターを弾くのが…

T: あ、ギター。

I: 好きですね。

ギターとか〈はーはーはー〉音楽〈ええ〉、聴くのがたか〈あー、はーはーはー〉、あの一、で、あとは〈ええ〉、あの一、まー、わたしはオートバイが好きでして。

T: あ、なるほどね。

I: オートバイとかバイクとか…

T: いろいろ趣味があるんですね。

I: そうですね。

車とか〈はーはーはーはー〉、なんでも、なんか動き方、あの、動き、うご、動いてるところ〈ええ〉があって〈ええ〉、あの、機械とか〈ええ、ええ、ええ〉、あの、好きなんですけどね。

T: あー、そうですか。

I: そうですね。

T: じゃー、まー、日本の、その、えー、日本ていうのは、まー、こういう小さい国だけど、ずいぶん、その一、技術っていうのはね、…

I: そうですね。

T: 進みますよね。

I: そうですね。

T: えーっと、その一、うー、オートバイね、…

I: そうですね。

T: どのような持ってるんですか？。

K036

I : わたしは【メーカー名1】っていうのは〈ええ〉持ってますけど。

【メーカー名1】の、あの、ま、ナナハンっていう、あの、その、あの、750ccのエンジン〈ええ、ええ、ええ〉の、を持っていますけど。

T : あ、そうですか。

ナナハンね。

でっかいんでしょうね。

I : そうですね。

アメリカでは、そんなに〈ええ〉大きくないんですけど〈ええ、ええ〉、やっぱり日本に來ると〈うん〉、その、免許の区別もありまして〈ええ、ええ〉、その、あの、機械の〈ええ、ええ〉、そのエンジンの〈ええ〉、あの、え、ちょっと、日本語わかりませんが、…

T : なるほど。

I : その、やっぱ、その、ディスプレイメント、その、あの一、ディスプレイメント、その、あの一、インジ [エンジン] の中の、その、し、あの一、なんて言うんですかね、…、あの一、ごめんなさい、せ、専門用語はちょっと分からないですけど〈ええ、ええ〉、その、その、…

T : あの、どういうものですか？

I : しーなんだ、あの、その、エンジンの中で〈ええ、ええ〉、例えば、あの一、ま一、ち、車が、だれ〈ええ、ええ〉、インジ [エンジン] があって〈ええ〉、で、そのエンジンの中の〈ええ〉くう、空間〈ええ、ええ、ええ〉の、あの一、量〈ええ、ええ、ええ〉がディスプレイメントって言うんです。

T : それをディスプレイメント。

I : そう、ディスプレイメント〈ふーん〉。

で一、あの一、ま一、その〈ええ〉、なな、750CCの〈ええ、ええ〉のディスプレイメント〈ええ〉は、ま、日本では大きいんですけど〈ええ、ええ〉、アメリカではそんなにおおく、大きはない〈はーはーはー〉。

それ、けっこう、ちゅー、なサイズだと思います。

T : あ一、そうですか。

I : そうですね。

T : あの、は一、え一、【メーカー名2】〈うん〉はどのぐらいなんですか？

I : 【メーカー名2】はせんー200、いや、ま一、あの、二つの〈ええ〉、いや、二つか三つのモデルあるんですけど〈ええ、ええ、ええ〉、あの一、はっぴゃく一〈ええ〉800CCのモデルもありま、ありまして、で、あの、1200〈うん〉CCのモデル〈はーはー〉もありまして〈ええ、ええ〉、1450ぐらいのモデルもあります。

T : はーはーはー。

でも【メーカー名1】が好きなんですね。

I : 【メーカー名1】とか、そうですね、その、…

T : どう、何か理由があるんですか？

I : あの一、そうですね、別に、あの、【メーカー名2】〈うん〉には、あの一、のオートバイには乗ったことありますけど〈ええ、ええ、ええ〉、あんまり好きじゃなくて〈あ一〉、日本の〈うん〉オートバイのほうが〈うん〉いいかなと思いますけれども。

T : ん、ん、かわいいから。

I : いや、かわいいっていうわけでない〈うん〉っていう理由で好きじゃないんですけど〈うんうんうんうん〉そっちのほうがプロフ、あの一、そっちのほうが速いし、パフォーマンス的にはそっちのほうが進んでるかなと思いますけど、技術的にも〈うんうん〉、そっちのほうが、あの、日本のほうが進んでると思います。

T : えっと、パフォーマンス的にって、たとえばどんなこと？

I : その、あの、ま、ハンドリングのこととか〈はーはー〉、そういうブレーキのこととか〈ええ、ええ〉、あの、エンジン〈うん〉、その、ぜん、全体的の〈ええ〉、あの一、なんて言うんですかね、その、技術のほうが〈うん〉【メーカー名2】とかに比べると〈うん〉、そっちのほうが進んでるんです〈うんうん〉。

【メーカー名2】つーのは、その、ま、一般的なインジ [エンジン] のモデルとかがあって〈ええ、ええ、ええ〉、で、それは、たぶん〈うん〉30年間ぐらい〈ええ〉ぜんぜん変わらない〈ええ、ええ〉。

少しだけ、なんか、良くするだけですけど〈はーはーはー〉、インジ [エンジン] は基本的に変わらないから〈ええ、ええ〉、その一、あの、どれぐらい、あの一、は、あの一、は、速く走るかとかは、あんまり変わ

K036

らないから。

でも逆に日本のほうが、その、なんか、なんですかね、その、パフォーマンスのところを注意してるから〈あー〉、そっちのほうが好きかなと思います。

T : あー、なるほどね。

まー、日本人、だいたい、まー、そういう細かいこととか {笑} …

I : そうですね。

T : 好きだから。

I : その細かいことが*** 〈ね〉。

で、あとはドイツのバイクとかも 〈あー〉 好きですけど。

T : あー、あ、ドイツもいいですか。

I : そうですね。

T : ドイツはどこがありますか？

I : どこ、ま、ドイツー、ま、【メーカー名3】。

T : あ、【メーカー名3】。

I : そうです。

T : も、バイク持ってる。

I : そうですね。

あ、持ってませんが 〈ええ〉、あの、好きですね。

T : なるほど。

I : そっちのほうがちょっと高いから 〈うん〉。

で、日本のは、まー 〈うん〉、ま、いいだし 〈うんうん〉、安いだし 〈あーあーあーあー〉、それはいいかなと思いますけど。

T : なるほどね。

分かりました 〈うん〉。

えっとね、ずいぶん話しましたのでね、ちょっと、ロールプレイをしたいなと 〈はい〉 思うんですけども、そうですね、【メーカー名1】の話が出ましたから 〈はい〉、えっとー、その工場なんか、行ったことがありますか？

I : そうですね。

ありますね。

T : 行ったことがある。

はーはーはー。

じゃー、その、クラブなんかもね、時々あるし、そのー、なんて言うの、バイクのファンのね、そうだな、そしたらー、そのー、こうしようか。

あの、【メーカー名1】の社長 〈うん〉、えー、ね 〈はいはいはい〉、を、みんな、あのー、その、みんな、【メーカー名1】のバイクのね、ファンのクラブに、ま、連れてきたんですよ 〈はい〉。

それで、ちょっと話をしてもらおうと 〈はい〉、ね。

で、わたしが【メーカー名1】の社長になりますから 〈はい〉、で、みんな日本人、たくさんいるね、日本人のメンバー、クラブだから 〈はい〉。

ちょっと簡単に、わたしを、この社長をね、あの、みんなに紹介してほしいんです。

I : 紹介ですか。

T : うん 〈はい〉。

ちょっと 〈はい〉、どうかな。

ちょっと考えて。

I : そうですね、ちょっと考える、たほうがいいのかもかもしれません。

あのー、…

T : あのー、ま、すでに電話でも話しましたし 〈はい〉、いろいろ、【メーカー名1】のこともよく、車のこともよく分かっているし 〈はい〉、ということで、みんなに、同じような大学生ぐらいの友だちに 〈はい〉。

いいですか。

じゃ、これで、【メーカー名1】 さんです。

I : 【メーカー名1】 だっけ、はい 〈はい〉。

K036

ちょっと待ってください。
 ちょっと考えさせてください。
 えー、…

T: ま、例えば、そうですねー、ホームステイをしている、にしておきましょうか 〈はい〉、【メーカー名1】さんの。

だから、あの一、紹介ができるという。

I: そうですね、はい。

T: それでいこうか。

I: 分かりました。

T: いいですか？

I: はい。

T: はい。

I: はい 〈{ブレス}〉。

さー、みなさん 〈はい〉、き、あの、今日は、あの 〈はい〉、いらっしゃってくださってありがとうございます 〈はい〉。

えー、そして、ちょっと、簡単に、あの一、ご、し、ご紹介さしていただきたいと思います。

あの、こちらの方は、あの、【メーカー名1】、あの一、株式会社の社長 〈はい〉、【メーカー名1】さん 〈はい〉。

えー、はい、あの、みなさん、あの、どうですかね、あと質問のもありますかね。

T: うん、うん、えっと、ちょっと関係を言っといたほうがいいですね。

I: あ、あ、ホームステイですね。

T: そのへんを。

I: はい。

あの、そして【メーカー名1】の 〈うん〉 家に、あの、まー、あの、自宅で、ちょっと、あの一、ホームステイ、あの、さしていただきますので、あの、とても感謝しております 〈うん〉。

みなさん、あの、【メーカー名1】にありがとう、と、あの、あの一、あれですかね、ごめんさい、急に英語の文法が*** 〈{笑}〉。

もうちょっとでサンキューとか 〈{笑}〉。

はい 〈ええ〉。

じゃ、あの一、【メーカー名1】さん、ありがとうございました。

T: はい、はい、分かりました。

みなさん、どうもありがとうございます。

っていうことで 〈はい〉、このね、ま、そういう、紹介してる場所なんですけれど、そこに、あの一、孫がね、【メーカー名1】さんの、孫が、うご、なんか、つい、一緒に来たんですよ 〈はい〉。

うろうろしてるので 〈はい〉、あの、ちょっと、その孫に {笑}、オサムちゃんという男の子なんですけど、

…

I: 男の子。

T: ちょっと、なだめて静かにしようね 〈うん〉。

んー、なん、何してんのよ、退屈だなー、これ {笑}、やるんですけど、子どもに話すような感じね。

I: はい、はいはいはいはい 〈はい〉。

じゃ、こ、その、あの一、こ、あの一、【メーカー名1】さん、…

T: の孫ですね、わたし。

I: そ、そ、孫ですね 〈うん〉。

ですから、その、こ、あの、まー、…

T: そう。

I: はい、分かりました。

T: うん、いいね、大丈夫ね？

I: はい、大丈夫です。

T: うーん、なんだ、今のって、何してんだよ、これ。

おもしろくないねー。

K036

- I : あー, どうしたんですか?。
- T : うん, いやー, 何, お兄ちゃん, 何してんだよ, ここで?。
- I : いや, ちょっと, あのー (うーん), オートバイ, ちょっと, 見に行きたかったんですけども。
- T : うーん (はい), なんか, つまんないね。
何してんの?。
- I : そうですか。
まー, ちょっと (うん), バイク見てるんだけど (うん)。
どう, おもしろくないと思う?。
- T : おもしろくないよ。
だから, こう, ぶらぶら, こう, 歩いてるけど, いいよね。
- I : あー, そうなんだ。
- T : いい。
- I : うーん。
- T : もー, …
- I : じゃー, 何が好きなの, バイクが好きじゃないなら?。
- T : うーん, まー, やっぱり, おもちゃ。
ほら (あー), こう, この, なんて言うの, こう, なんて言うか, なんにもないの?。
- I : あー, あるきど, ちょっと, 何がいい?。
なんか好きなキャラとかある?。
- T : うーん, ま, なんでもいいや。
マッチボックスのなんとかってあるじゃない。
- I : うーん, あるあるある。
それ, いいね。
- T : あれではだめかな (うーん) ?。
ないの?。
- I : あるよ。
ちょっと待って (うーん)。
この赤いのはどう?。
- T : うーん, そうね。
とか, ちょっとのども渴いてるし。
もー (うん), なんか, おいしいものも何もないの?。
- I : あのー, どうかね。
水 (うん), 水でいいかな?。
- T : 水, ま, 水でもいいよ。
- I : うん, じゃ, ちょっと待って。
- T : うん, うん, うん, うん, はい, ありがとう {笑} (笑)。
ま, 急にね (あー), こういうロールプレイするのはね, ***。
- I : そうですね。
それは, ちょっと, あの (うん), 急に, ちょっと, あの (うん), わからな (うん), どうすればいいか分からなくなるんですけど (うん), その, やっぱり, あのー, 【メーカー名1】さんの (うんうん) 孫ですから (うんうん), ちょっとどうすれば, なんか (うん), 話し方とかをどうすればいいか (うん), ちょっと, 気になったんですけど。
- T : うん, もっと親しくね {笑}。
- I : 親しくとかね。
- T : そうですね (あー)。
今のホームステイは誰かいるんですか, その, 子ども?。
- I : そうですね。
まー, 子どもはたくさん。
- T : あ, たくさんいる。
- I : そうです。

K036

あの、た、あの、すいません、あの、ま、たくさんていうか、あの、わっつい [わたし] は、まー、一人っ子ですから、ちょっと〈ええ、ええ、ええ〉、あの、まー、二人、あの、二人ですね〈はーはーはー〉。

あの、ま、10歳の男の子で、あの、16歳の女の子ですね。

T: なるほどね。

京都ですか？

I: 京都ですね、はい。

T: あの一、関係はいい？

I: そうですね。

ひかく、やっぱり、あの一、その、男の子の〈うん〉、の、との関係のほうが〈ええ〉いいですけどね〈あー〉。

やっぱり、ま、16歳の女の子だし…

T: だんだん、もう、だんだんね、…

I: そうですね。

T: ティーンネイジャーで {笑}。

I: ティーンネイジャーで、やっぱり、わたしのこと全然、まー、あの一、***…

T: 無視してる。

I: 無視してる、無視してるっていうか、ま、やっぱり、あの一、ま、優しい人なんですけど〈あー〉、やっぱり友だち、ほかの友だちといるから、そっちのほうが、あの、彼女にとって楽しいかなと思いますけどね。

T: はい、どうもありがとうございました。

I: ありがとうございました。

T: はい。